

## ま え が き

独立行政法人国立高等専門学校機構では、昨年度に仙台・富山・香川・熊本4地区の高専を高度化・再編し、学校数としては51高専となりましたが、第二期（平成21年度～25年度）の中期目標・計画の実現に向けて高専間のスケールメリットを生かしつつ、ますます発展と進化をつづけています。特に、これからの高専が堅持する基本的な役割は、昨年度に出されました中央教育審議会・高専部会の答申にもありますように、「ものづくり技術力の継承・発展とイノベーションの創出」です。そのために全国の高専では、個性化を確保し、さらなる活性化、高度化をかかげて高専・大学間や産業界ならびに地域社会との連携を強め、積極的に事業を展開しています。その流れのなかで、明石高専では従前から云われていました中堅技術者の養成から、「幅広い場で活躍する多様な実践的・創造的技術者の養成」を目標に産業界や地域社会との連携を強め、ものづくり技術力の継承・発展を担い、イノベーション創出に貢献する人材の育成をめざして教育と研究活動を進めているところです。

こうした背景から明石高専では、新しく発足しました「ひょうご神戸産学学官アライアンス」を有効に活用し、神戸高専や神戸大学など近隣大学へのパイプ役を果たすと共に、経済産業省や兵庫工業会を核とした「中小企業ものづくり人材育成事業」等に対しましても積極的に取り組んでいます。本校におきましては、テクノセンターが各種事業の中心的な役割を果たし、研究協力や技術連携を推進しています。この一環としてテクノセンターでは、本校教員の研究・教育内容を専門分野以外の方でも容易に理解でき、より分かりやすく図表を利用して取りまとめた「研究・教育シーズ集」を発行しています。本校の研究・教育活動が本シーズ集を通して、地域のみなさまにご理解をいただくための一助として、また企業の方々が抱えているニーズや問題点に対応したシーズが見つかり、地域全体の発展と活性化に資することができれば幸いです。

本書の内容にご興味を持たれた時は、ご遠慮なくテクノセンターあるいは各教員までお問い合わせをくださるようお願い申し上げます。

平成22年1月

明石工業高等専門学校長 京兼 純